

第55期 報告書

平成29年 1月 1日～
平成29年12月31日

「世の中にない」「真に役立つ」
それが、私たちの研究開発の出発点です。

経営理念

1. 人を育てる
2. 技術を育てる
3. クリーン、ヘルス、セーフティの分野で新市場を育てる

事業領域



株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに第55期報告書をお届けするに当たり、ご挨拶申し上げます。



代表取締役副社長
堀口展也

代表取締役会長
酒井眞一郎
(登記名 眞一)

代表取締役社長
村川 勉

平昌オリンピック・パラリンピックは、日本人選手の活躍もあり平和の祭典として華やかに進展しましたが、その一方南北朝鮮半島の問題は、この祭典に色濃く侵入して問題の本質を見えにくくしています。防護マスクを販売している当社は、その時々瞬間の状況によって株価の大きな変動に曝され当惑しているところです。

しかし企業の存続と繁栄を決定づける要素としては、こうした一時的な売り上げや利益の増減は本質的なものではないと考えます。当社も企業でありますので目の前の状況に対応することは当然のことですが、経営にとってもっと大事なことは、大局的な流れ、本質的な流れに対応することだと考えています。

現在、人口減少(人手不足)、働き方改革等、日本独自の問題に加えて、IoTやAIの急速な進化は、企業の存立環境を著しく変化させると思われ、当社にとってもこの変化への対応は極めて重要と考えられます。

当社のマスク事業は、国内においては安全や健康思想の高まり、規制の強化によって需要の拡大が起こる一方、二次産業労働者の減少による需要の減退もあり、その両方が綱引きをするという状況が続いてきました。

一方海外については、各々の規制や規格に違いがあること、また健康価値が高い地域のみしか高性能のものが

受け入れられないという事情があって展開が著しく困難となっています。

そのような中、IoTやAIの進化は益々人からロボットへの流れを加速させ、有害環境の中で作業する二次産業労働者の数の更なる減少は避けられないと思われ。当社はその意味で「クリーン、ヘルス、セーフティ」という分野で他社にない技術を以って新市場を切り拓こうとしており、クリーン事業は今年中に確実に立ち上がり、大きな希望となろうとしています。更に来年には、ヘルス事業への挑戦も目指しており、新技術によるチャレンジは当社経営の中心課題となっていくと思われ。

新しい技術で新しい市場を切り拓くのは並大抵の努力では達成できませんが、当社にとって2018年と2019年は立ち上がる大きな壁を突き破る最も重大な年と考えております。本年完成する飯能先進技術センターは、この壁を乗り越える大きな力となり、興研の発展に寄与するものと確信しております。

株主の皆様には、どうか引き続き長い目でご期待頂き、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

平成30年3月

営業の概況

当連結会計年度(平成29年1月～12月)における我が国経済は、企業収益や雇用環境の改善などにより、緩やかな景気回復基調が続きましたが、欧米の政策動向に伴う世界経済の不確実性や地政学的リスクが及ぼす影響などへの懸念により、先行き不透明な状況が変わらずに推移しました。

このような経営環境の中、当社グループは『クリーン、ヘルス、セーフティ』の各市場に対して積極的な事業展開を継続して実施した結果、マスク関連事業、その他事業(環境関連事業等を含む)ともに前連結会計年度実績

を上回る成果が得られ、売上高は84億59百万円(前連結会計年度比6.6%増)となりました。

利益につきましては、原材料費や輸送費が上昇する中、調達の最適化、生産の効率化、その他業務全般の合理化に注力した結果、営業利益7億25百万円(同14.4%増)、経常利益6億62百万円(同19.4%増)、親会社株主に帰属する当期純利益4億92百万円(同26.9%増)となり、各利益ともに前連結会計年度実績を上回りました。

セグメント別の業績は以下の通りです。

マスク関連事業

売上高 **75億84百万円** (前連結会計年度比6.6%増)

当事業の主要顧客である国内製造業は、総じて設備、雇用、生産ともに増勢傾向にあり、これを防じんマスク、防毒マスクの販売増につなげました。また医療機関用並びに一般個人用の使い捨て式マスク「ハイラック」シリーズの販売も堅調に推移し、特に中国の大気汚染対策用の売上が大きく伸びました。これにより、前連結会計年度増収に寄与したリフラクトリーセラミックファイバー対策用の電動ファン付き呼吸用保護具「プレスリンク」シリーズの反動減収分をカバーしました。

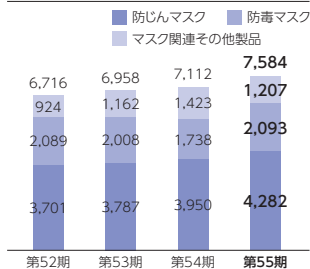
その他事業 (環境関連事業等を含む)

売上高 **8億75百万円** (前連結会計年度比6.3%増)

オープンクリーンシステム「KOACH」については、『アクチュアルクリーン(実際の作業中の清浄度)』を訴求する営業活動を積極的に展開した結果、革新的技術の認知度が高まり、短期間の検討で受注につながる事例も増えました。

不妊治療専門医療機関、NASA(アメリカ航空宇宙局)での採用、射出成形環境のクリーン化への活用など、販売分野、市場は着実に拡大し、納入件数は前連結会計年度実績の1.4倍となりました。

マスク関連事業売上高 (単位:百万円)



(注)記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

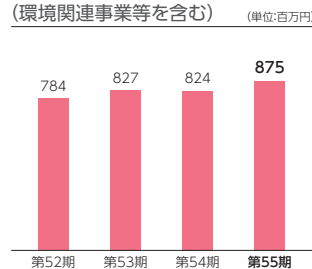


使い捨て式マスク「ハイラック」シリーズ



オープンクリーンシステム「KOACH」

その他事業売上高 (単位:百万円)



(注)記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

対処すべき課題

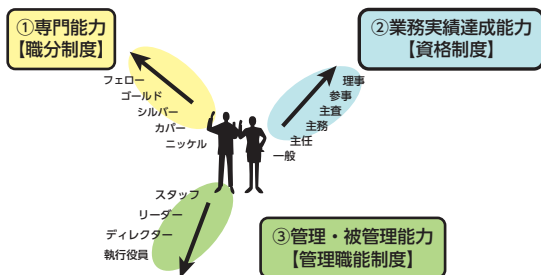
当社グループは、企業価値の更なる向上と持続的な発展・成長を実現するために、3つの経営理念「①人を育てる、②技術を育てる、③クリーン、ヘルス、セーフティの分野で新市場を育てる」を基に、それぞれの継続的な課題に取り組んでおります。

①人を育てる

当社グループの人事管理制度「興研トータル人事システムHOPES(ホープス)」は、専門能力、業務実績達成能力、管理能力をそれぞれ別の能力と見て、社員一人ひとりを3つの角度(3軸)から独立して評価・運用した多様性を受容する人事システムで、年齢、性別、勤続年数を問わず活躍の場が与えられ、常に意欲のある人材を適所に登用しております。

事業の発展・拡大には、適所適材の人材配置が必要であり、そのための継続的育成が不変の課題となります。当社グループは、専門知識・能力向上を図る社内研修プログラムによって計画的に人材育成を進めております。

女性がより活躍する企業体に対し当社グループでは、管理職を目指す女性社員が少ないという現状に合わせて、かねてより3軸(専門能力、業務実績達成能力、管理能力)の評価と昇格制度を有する人事制度を運用し、今では女性社員のうち51%が資格役職者であり、46%がマイスターという専門能力の資格を取得しています。この2つの比率は男性社員とほぼ同等となっておりますが、更に管理職を含めて女性が総合的に活躍できる企業体となることを目指します。



HOPES モデル図

②技術を育てる

当社グループが創業以来、守り続けてきた「他社に追いつかない」「徹底的に研究する」という研究開発の理念を技術開発員一人ひとりに徹底・浸透させるため、マトリクス型の研究開発体制や人事評価として技術専門能力を高めるマイスター制度、全技術開発者と全取締役参加による月例研究発表会などの仕組みを作り、運用しています。その結果、オンリーワン、ナンバーワン製品が次々と生まれ、特許、意匠、商標、先使用权を合わせた知的財産権は、平成29年12月末現在、国内166件、海外93件を保有するに至っております。

技術立社としての成長を目指す当社グループにとって知的財産は事業戦略・経営戦略上、常に重要事項であり、取得する知的財産権の質・量とともに向上させることを重要課題として捉えております。

平成30年8月に竣工予定の「飯能先進技術センター」は、新たな技術革新につながる芽を育てるとともに、社外の諸機関との連携も視野に入れ、多種多様の先進技術を次々に発信する研究開発拠点となります。



飯能先進技術センター 完成予想図

③クリーン、ヘルス、セーフティの分野で新市場を育てる
当社グループは、独自技術を「クリーン、ヘルス、セーフティ」の各分野に提供することで、新しい市場の開拓とその発展に貢献し続けます。

<クリーン>技術・生産の飛躍的進化への貢献を目指します。

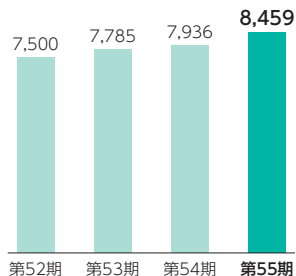
<ヘルス>製品開発を加速させ新事業の展開を図ります。

<セーフティ>マスクの更なる普及を目指します。

財務ハイライト

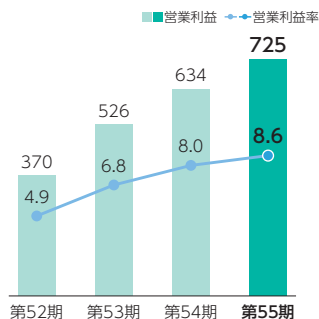
売上高

(単位:百万円)



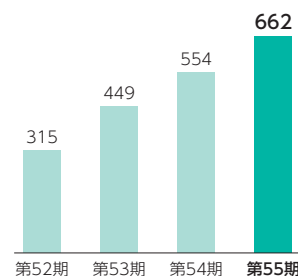
営業利益／営業利益率

(単位:百万円/%)



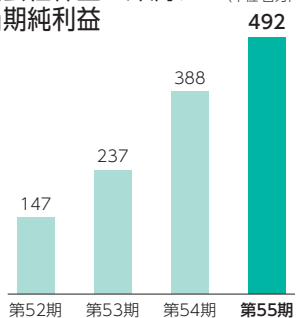
経常利益

(単位:百万円)



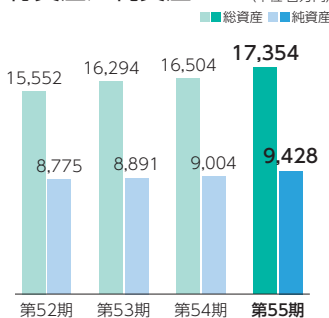
親会社株主に帰属する 当期純利益

(単位:百万円)



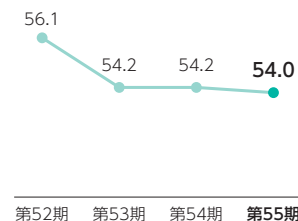
総資産／純資産

(単位:百万円)



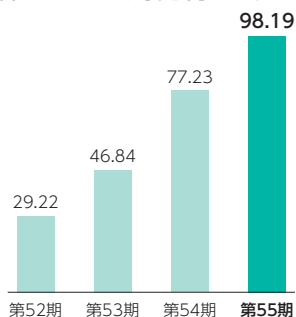
自己資本比率

(単位:%)



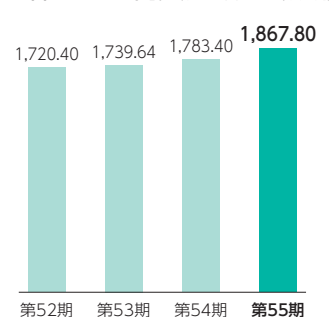
1株当たり当期純利益

(単位:円)



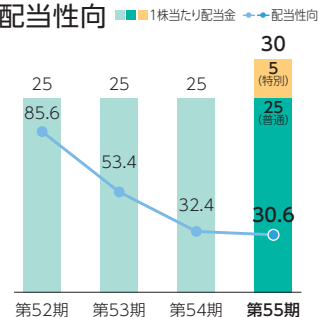
1株当たり純資産額

(単位:円)



1株当たり配当金／ 配当性向

(単位:円/%)



(注) 記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

連結財務諸表

連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

	第55期 平成29年12月31日現在	第54期 平成28年12月31日現在
【資産の部】		
流動資産	7,156	7,129
固定資産	10,198	9,374
① 資産合計	17,354	16,504
【負債の部】		
流動負債	3,783	3,751
固定負債	4,143	3,748
② 負債合計	7,926	7,500
【純資産の部】		
株主資本	9,322	8,955
資本金	674	674
資本剰余金	527	527
利益剰余金	8,254	7,887
自己株式	△134	△134
その他の包括利益累計額	45	△11
新株予約権	60	60
③ 純資産合計	9,428	9,004
負債・純資産合計	17,354	16,504

(注)記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

	第55期 平成29年 1月 1日から 平成29年12月31日まで	第54期 平成28年 1月 1日から 平成28年12月31日まで
売上高	8,459	7,936
売上原価	4,393	4,172
売上総利益	4,065	3,764
販売費及び一般管理費	3,340	3,129
営業利益	725	634
営業外収益	24	19
営業外費用	88	99
経常利益	662	554
特別損失	0	0
税金等調整前当期純利益	662	554
法人税、住民税及び事業税	176	210
法人税等調整額	△6	△43
親会社株主に帰属する当期純利益	492	388

(注)記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

	第55期 平成29年 1月 1日から 平成29年12月31日まで	第54期 平成28年 1月 1日から 平成28年12月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	919	830
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,123	△245
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1	△353
現金及び現金同等物に係る換算差額	14	△9
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△190	221
現金及び現金同等物の期首残高	1,999	1,777
現金及び現金同等物の期末残高	1,808	1,999

(注)記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

財政のポイント

- Point1 資産** 資産合計が前連結会計年度末に比べ8億50百万円増加した主な要因は、有形固定資産が8億9百万円増加したこと等によるものです。
- Point2 負債** 負債合計が前連結会計年度末に比べ4億26百万円増加した主な要因は、固定負債が長期借入金の増加等により3億94百万円増加したこと等によるものです。
- Point3 純資産** 純資産合計が前連結会計年度末に比べ4億24百万円増加した主な要因は、利益剰余金が3億66百万円増加したこと等によるものです。その結果、自己資本比率は54.0% (前連結会計年度末54.2%) となりました。

トピックス

オープンクリーンシステム「KOACH」の用途が広がっています

「KOACH」は、「スーパークリーン(世界最上級の清浄度)」と「アクチュアルクリーン(実際の作業中の清浄度)」を実現するシステムとしてその用途は更に広がっています。

不妊治療専門医療機関

「KOACH」は、高度生殖医療(顕微授精等)で必要とされる高い清浄空間が形成できることに加え、仮に作業時に手元からコンタミナントが発散したとしても、滞留することなく排出することができるシステムです。

このため、手元の清浄度は高いまま維持することが可能であることや微風速の気流で清浄空間を形成するため、お預かりした貴重な受精卵を乾燥させない、また顕微授精の作業の様子を患者様にもご覧頂ける治療環境を実現できる点などが高く評価され導入に至っています。



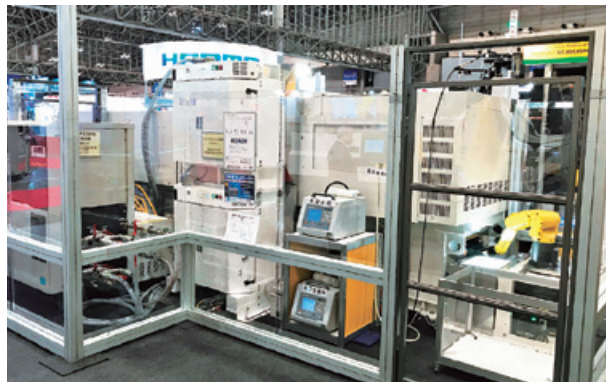
フローアークーチ(木下レディースクリニック様)

- 奥のプッシュフードから手前側に清浄な空気が流れてクリーン環境を形成します。
- 途中に柱などの遮蔽物があっても気流は乱れず、空間全体で清浄度が維持されます。

射出成形環境

世界有数の産業用ロボットメーカーとして有名なファナック株式会社様は、新しい成形ソリューションのひとつとして電動射出成形機「ロボショットシリーズ」の医療市場向けの「メディカルパッケージ」を「第9回国際プラスチックフェア」で展示されました。

「KOACH」の簡単に設置でき、かつ囲わずに清浄空間を形成できる点が、成形機のクリーン化に適していると評価され、クリーンソリューションの一例としてメディカルパッケージとともに展示されました。



第9回国際プラスチックフェア(平成29年10月24日~28日開催)で展示されたファナック株式会社製電動射出成形機「ROBOSHOT alpha-S150iA」と「KOACH」

- メディカルパッケージは、コンタミネーションに厳しい医療市場に適した成形機として、グリスが成形品に付着しにくい構造や、汚れを目立たせる白色塗装を施した仕様になっています。
- 「KOACH」によって、金型周辺を中心に製品の搬送路までクリーン化されています。

平成29年度 知的財産権制度優良企業等表彰 で経済産業大臣表彰を受賞しました

当社グループは、新たな技術を創造し、新市場を開拓していくという企業スタイルから知的財産を経営戦略の中で最も重要と位置づけ、その活用を推進しておりますが、その活動が平成29年度「知財功労賞」表彰の特許活用優良企業賞（経済産業大臣賞）を受賞いたしました。

①経営層参加の「知財会議」「発明審査委員会」において出願方針の決定や発明評価を実施、②「知的財産権管理規程」の他、開発段階で既に保有する特許技術等の活用検討などを定めた「製品開発業務規程」を整備、運用、③知財専任スタッフが、特許の先行調査結果などの情報提供及び職務発明の受付から権利の維持管理までの活動を実施、④事業化した自社技術の発明を例に研修教材を作成して知財教育を実施、⑤特許出願時は、基本特許だけでなく周辺特許を出願し、特許ポートフォリオを構築して特許を戦略的に取得する、などが評価されての受賞となりました。

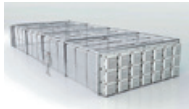


今回の受賞を励みに、今後も当社グループは新たな価値を提供するための技術を生み出し、国内のみならず世界に対しても技術発信を続けることで、日本のものづくり及び産業の発展に役立つよう努めて参ります。

特許取得商品（一例）



電動ファン付き呼吸用保護具
「プレスリンク」シリーズ
特許第3726886号 他



オープンクリーンシステム
「KOACH」
特許第5127292号 他



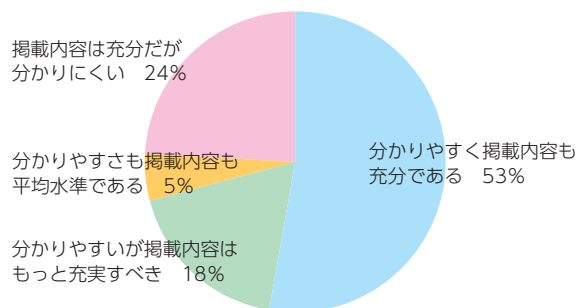
全自動内視鏡洗浄消毒装置
「鏡内待」
特許第3524077号 他

株主アンケート結果

前回「第54期報告書」にて実施した株主アンケートの集計結果をご報告させていただきます。当社では一つひとつのご意見を真摯に受け止め、IR活動の参考とさせていただきます。

今後とも宜しくお願い申し上げます。

Q 事業報告書の掲載内容についてお聞かせください。



Q 当社に対するご意見をお聞かせください。

貴社の経営理念や製品開発に興味があり、今後も益々の発展を期待して応援しております。

これからのますますの発展を期待するとともに、今後、100年、200年と未永く社会に貢献していただきたいと思います。

業績向上に努めて増配という形で株主還元して欲しいです。

新市場開発・研究開発頑張ってください。

など

会社情報 (平成29年12月31日現在)

会社概要

商号 興研株式会社 (英文社名)KOKEN LTD.
創業 1943年(昭和18年)5月10日
設立 1963年(昭和38年)12月12日
資本金 674,265,291円
本社所在地 東京都千代田区四番町7番地
従業員数 連結289名(うち当社231名)
上場証券取引所 東京証券取引所 JASDAQスタンダード
事業内容 防じんマスク、防毒マスクなどの労働安全衛生
保護具及び環境関連機器・設備の製造、販売

株式の状況

発行可能株式総数 20,000,000株
発行済株式の総数 5,104,003株
株主数 2,568名
大株主(上位5名)

株主名	所有株式数(株)	持株比率(%)
酒井 真 一	641,000	12.70
酒井 宏 之	609,400	12.08
公益財団法人酒井CHS振興財団	400,000	7.93
株式会社りそな銀行	244,300	4.84
酒井 香 織	229,600	4.55

(注)持株比率は、発行済株式の総数(5,104,003株)から自己株式数(57,807株)を控除した株式数(5,046,196株)を基準に算出し、小数点第3位以下を四捨五入して表示しております。

株主優待制度のご案内

当社グループでは、株主様の日頃からのご支援に対し、「株主優待制度」を導入しております。本制度は単なる物質的な株主還元だけでなく、株主様への安全、安心のご提供を目的としています。ぜひご利用ください。

▶ ご優待内容

当社製品の優先購入ができる『優先購入券(KOKEN 安全・安心チケット)』を保有株式数、保有年数に応じて贈呈。

▶ 対象となる株主様

毎年6月末日現在の株主名簿に記録されている1年以上かつ1,000株以上ご所有の株主様。

※「優先購入券(KOKEN 安全・安心チケット)1年間有効」には、100%割引と30%割引の2種類がありそれぞれ購入の上限数を設定しております。

株主優待に関するお問い合わせ先

TEL : 03-5276-1932 FAX : 03-5276-6530 e-mail : ir@koken-ltd.co.jp
当社広報・IR室までお問い合わせください。

役員 (平成30年3月27日現在)

代表取締役会長 酒井 真 一 常勤監査役 秋山 俊 雄
代表取締役社長 村川 勉 常勤監査役 伊藤 善 博
代表取締役副社長 堀口 展也 社外監査役 階戸 照 雄
専務取締役 村松 光二 社外監査役 白 日 光
専務取締役 田中文和
常務取締役 井端 秀明 常務執行役員 齊藤 雄 司
取締役 長坂 利明 執行役員 木村 一 志
取締役相談役 酒井 宏之
社外取締役 櫻井 しのぶ

事業所・グループ会社

本社/東京
研究所/飯能
KOKEN スーパークリーンテクニカルセンター/埼玉
テクノヤード/狭山、群馬、所沢、中井、嵐山
配送センター/埼玉
営業所/全国15カ所
KOACHショールーム/東京、名古屋、大阪、九州
連結子会社 SIAM KOKEN LTD./タイ王国チョンブリ県

▶ ご優待品



感染対策用マスク
[ハイラック]シリーズ
火災・特殊災害避難用マスク
[ライフマスター]シリーズ



優先購入ができる製品類

「世の中にない」「真に役立つ」が、私たちの研究開発の出発点

「世の中にない」「真に役立つ」を研究開発の出発点とし、“大きい企業”ではなく、規模の拡大はゆっくりであっても、世界にない、当社にしかできない「オンリーワン」「ナンバーワン」の技術・製品をもつ“強い企業”＝「技術立社」になることが私たちの目標です。この特集では、興研の研究開発についてご紹介します。

第3回 電動ファン付き呼吸用保護具「ブレスリンク」シリーズの開発

● マスク着用者を、より安全に、より快適に ●

開発の経緯

有害な粉じんが存在する環境で使用する防じんマスクは、肺の力で呼吸する構造のため、内蔵するフィルタ自体に抵抗があり、更にフィルタが粉じん目詰まってくるとより息苦しくなります。また防じんマスクは、顔とマスクの間にすき間があると、そこから粉じんが漏れ込みやすくなる弱点もあります。

それら問題点解決のために考えられたのが電動ファン付き呼吸用保護具(Powered Air Purifying Respirator、以下 PAPR)で、電動ファンが送風してくれるため楽に呼吸ができ、マスクの内部が外気圧より高く保たれる(陽圧)ため、粉じんの漏れ込みが少なく防護性能が高いという特長があります。

しかし1980年代のPAPRIは、大型の電動ファンと電池を使用していたため製品本体が重くて大きい、送風を連続的に行なう構造のため送風の煩わしさ、フィルタ・電池の消耗が早い、という点から特殊な作業以外で使用されることは多くありませんでした。

2002年当社は、“電動ファンの送風を呼吸に合わせて稼働させ送風する制御技術(Breath Synchronized Air Flow System)”を搭載し、フィルタ・電池の早期消耗という問題を解決した「ブレスリンク-10」を発売しました。同製品はマスク部とフィルタ・ファン部が分離した構造でしたが、2004年には、マスク部内にファンを内蔵し、小型軽量の電池も採用した「BL-50」を製品化いたしました。

その後、2008年に全面形「BL-700H」、2014年に電池内蔵形の「BL-321S」など、着用者の方々の作業をより安全に、より快適に行っていくための、新技術・新製品開発を続けています。

主な特長

- 呼吸追随方式(ブレスレスポンス方式)送風によりPAPRの欠点を解決
 - 呼吸に合わせて送風を行うことで、滑らかにで自然な呼吸が行なえる
 - フィルタへのムダな粉じんの堆積を抑制する
 - 排気時にはファンの回転を制御するため、電力消費を大幅に低減。省電力化によって小型電池の使用が可能となり、面体質量300g以下(最新型BL-321シリーズ等)の電池内蔵製品を実現
- フィルタ交換及び電池交換を送風で警告

フィルタ交換及び電池交換を特殊な送風(お知らせ送風)により警告するので、フィルタ交換時期や電池の充電時期を心配することなく安心して作業に従事できる
- 面体部に肌荒れを防止するシリコーンゴムを採用

BLシリーズの面体にはシリコーンゴムを採用。シリコーンゴムは肌荒れを起こし難く、清掃の容易な素材で、装着感も良く長時間の装着が可能となる
- セパレート型と電池内蔵型の両PAPRを用意

電池内蔵型とは別に、より軽量面体のセパレート型も用意。作業に合わせて最適な製品を選択することができる

VOICE

開発に携わって

「マスク着用者を息苦しさから解放する。それも安全・安心を確保した上で」との思いで開発した「ブレスリンク」シリーズ(以下「BL」シリーズ)ですが、当時のPAPRのJISは一定流量形の構造・性能を想定した規格であったため、「BL」シリーズの呼吸追随形の送風機構が規格として評価されず、ユーザー様に製品の特徴を説明するのに苦慮するなど、開発者として歯痒い思いをしたことを覚えています。それでも「BL」シリーズの防護性能、装着感、快適性が市場で評価を受け、トンネル建設工事等の作業で使用されるようになってからは、JISも2009年に改正され、呼吸追随形PAPRがJIS準拠品として販売可能となりました。これにより、製品説明はもとより製品開発・市場投入もスムーズに行えるようになり、「BL」シリーズの採用分野は拡がり、普及が進んでいきました。

「BL」シリーズの普及により、行政が粉じん職場にPAPRを推奨できる環境が整ったことから、近年ではPAPRの使用を指導する行政通達等も数多く出されるようになり、これらを背景に2014年には労働安全衛生法の一部が改正され、PAPRも防じんマスク等と同様に型式検定の対象になりました。

近年開発した「BL」シリーズでは電動ファンの呼吸追随性を向上させ、更なる省電力化を可能としました。この技術を使用した最新の電池内蔵型は防じんマスクと変わらない品質を実現しています。

今後も開発者として市場と向き合い、更なる技術開発を進めることで、より着用者に有益となる製品を開発し、じん肺等粉じんばく露による疾病防止に努めて参ります。

- ・ 技術本部 開発部
- ・ マーケティング本部
- ・ 安全衛生ディビジョン



「ブレスリンク-10」



「BL-50」



「BL-700H」



「BL-321S」

株主メモ

事業年度 1月1日～12月31日
定時株主総会 3月
基準日 12月31日
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関 同上
同連絡先(注) 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
電話 0120-232-711 (フリーダイヤル)
〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所 東京証券取引所(JASDAQ)
公告の方法 当社ホームページに掲載

<http://www.koken-ltd.co.jp/>

ただし、やむを得ない事由にて電子公告が行えない場合は、日本経済新聞に公告いたします。

(注) 株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関の事務拠点の移転に伴い、平成29年8月14日付にて上記の通り変更しております。

各種お手続きについて

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、口座管理機関の三菱UFJ信託銀行までお問い合わせください。
なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り扱いいたします。（お問い合わせ先）
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
・連絡先 0120-232-711 (フリーダイヤル)
・ホームページ <http://www.tr.mufig.jp/daikou/>
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

クリーン、ヘルス、セーフティで社会に

 **興研株式会社**

〒102-8459 東京都千代田区四番町7番地

ホームページのご案内

当社のホームページから最新の会社情報や決算短信など詳細なIR情報をご覧頂けます。ぜひご活用ください。

<http://www.koken-ltd.co.jp/>



トップページ



IR情報サイト

株主の皆様のお声を聞かせください

当社では、株主の皆様のお声を聞かせ頂くため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセス頂き、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

 <http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 7963

いいかぶ

検索



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。（タイトル、本文は無記入）アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

- アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答頂いた方の中から
抽選で薄謝（図書カード500円）
を進呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社 a2media（イー・ツー・メディア）の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
（株式会社 a2mediaについての詳細<http://www.a2media.co.jp>）
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させて頂き、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

- アンケートのお問い合わせ TEL:03-5777-3900（平日 10:00～17:30）
[e-株主リサーチ事務局] MAIL:info@e-kabunushi.com



UD
FONT

見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。